

令和元（平成31）年度

行政評価報告書



令和元年10月



目 次

1 行政評価を行う背景 P 2

- (1) 厳しい財政状況 P 2
- (2) 市民ニーズの多様化と行政に対する関心の高まり P 2

2 行政評価とは P 2

3 効率的・効果的な行財政運営と総合計画の着実な推進 . . . P 2

- (1) 効率的・効果的な行財政運営 P 2
- (2) 実行計画の推進 P 2

4 大津市行政評価システムの概要 P 3

- (1) 施策評価を導入した行政評価システムの構築 P 3
- (2) 行政評価システムの特徴 P 3
- (3) 行政評価システムのねらい P 3
- (4) 評価体系 P 5
- (5) 行政評価の流れ P 6

5 施策評価 P 7

- (1) 施策評価の概要 P 7
- (2) 評価の進め方 P 7
- (3) 施策体系（第1期実行計画） P 8
- (4) 施策評価シートの見方 P10
- (5) 施策評価結果について P14

6 事務事業評価 P 56

- (1) 事務事業評価の目的 P56
- (2) 事務事業評価の実施概要 P56
- (3) 事務事業評価の実施結果 P60
- (4) 近年見直しを実施した主な事業 P63
- (5) 施策別事務事業評価結果 P63

1 行政評価を行う背景

(1) 厳しい財政状況

我が国の経済は、海外経済の減速の影響を受けるものの、景気の拡大基調が続くとみられ、国内需要も、消費税引き上げなどの影響を受けつつも、きわめて緩和的な金融環境や政府支出による下支えなどを背景に、増加基調をたどると見込まれている。

本市を取り巻く行財政環境についても、歳入の見通しは流動的であり、歳出においては、子ども・子育て施策の更なる充実やごみ処理施設の改築更新をはじめ、中学校給食実施に向けた施設整備、高齢化の進展に伴う高齢者医療や介護制度の適切な推進、高度経済成長期に建設された公共施設の延命及び更新経費の増加など、財政需要はますます増大していくことが見込まれる。

こうした状況から、限られた財源を有効活用するため、施策・事務事業の選択と集中による、総合的かつ効率的、効果的で持続可能な行財政運営が求められている。

(2) 市民ニーズの多様化と行政に対する関心の高まり

市民・事業者・行政の三者協働によるまちづくりが進む中、行政の公平性と透明性を一層高めていく必要がある。また、多様化が進む行政需要や人口減少局面を見据えた対策などの様々な政策課題に対して、柔軟かつ迅速に対応していくことが求められる。

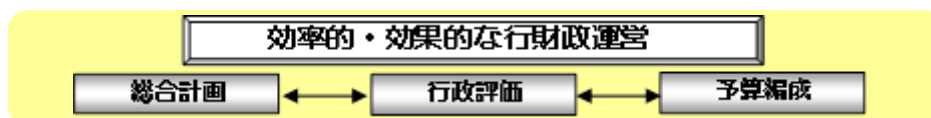
2 行政評価とは

行政が実施する事業の目的・目標を明確化し、実施により得られる成果を、数値指標などを用いて客観的に評価することで、現状を認識し、課題を発見するための仕組みである。

3 効率的・効果的な行財政運営と総合計画の着実な推進

(1) 効率的・効果的な行財政運営

行政評価においては、基本構想の将来都市像を実現するため、「総合計画」、「予算編成」及び「行政評価」の3つを関連づけ、効率的・効果的な行財政運営に努め、最適な事業の選択と資源の効果的な配分を目指している。



(2) 実行計画の推進

本市のまちづくりの指針である総合計画は、平成29年度から令和10年度までの12年間の計画である。

第1期実行計画の計画期間である平成29年度から令和2年度までの4年間は、総合計画のスタートと位置づけて、着実に施策・事業を推進していく。

●大津市総合計画の構成と計画期間



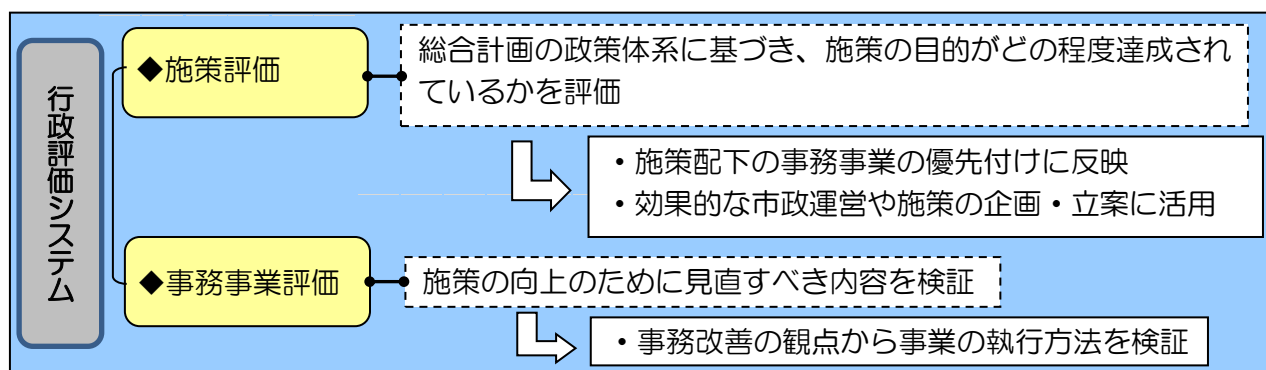
4 大津市行政評価システムの概要

(1) 施策評価を導入した行政評価システムの構築

大津市では、総合計画に掲げる「行財政改革の強化と持続可能な都市経営」の取り組みの一環として、また大津市行政改革大綱の目標である「徹底した行財政改革によるコンパクトで持続可能な都市経営の実践」への取り組みとして、従来から実施してきた事務事業評価に加え、平成22年度より施策評価を導入し、行政評価システムを構築してきた。

平成29年度からは、新総合計画の施行に伴い、施策評価の手法を見直し、施策評価と事務事業評価を一体的に実施することとした。

《行政評価システムの構成》



これらの評価結果は、市民に公表し、行政経営の可視化を目指す。

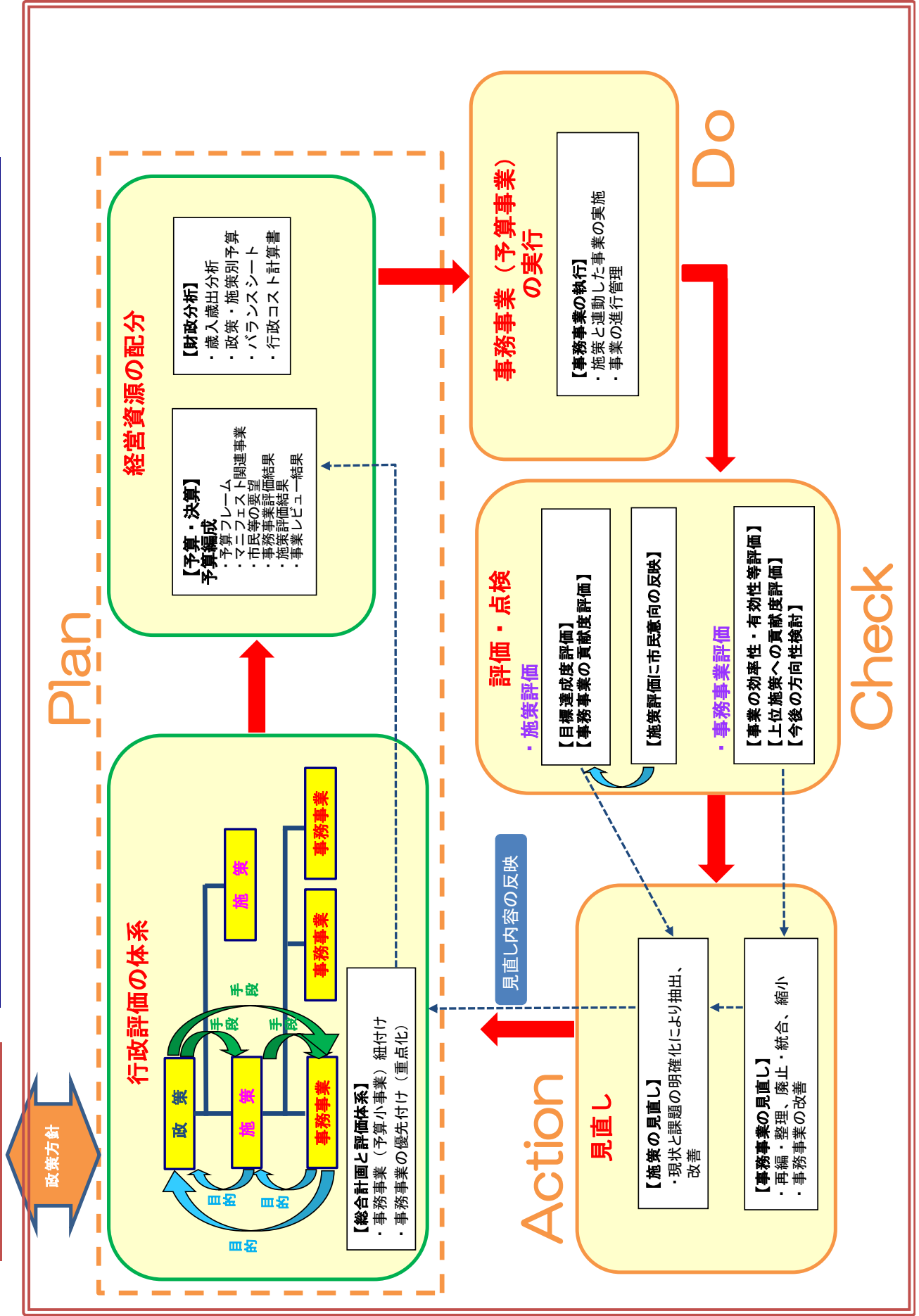
(2) 行政評価システムの特徴

- ◆ 総合計画の体系に沿った「施策評価」と「事務事業評価」の実施
- ◆ 施策ごとに成果指標及び数値目標を設定
- ◆ 共通事務処理システムによる評価データ作成と一括管理
- ◆ 「計画－行政評価－予算編成」という行財政運営工程の一連性の強化

(3) 行政評価システムのねらい

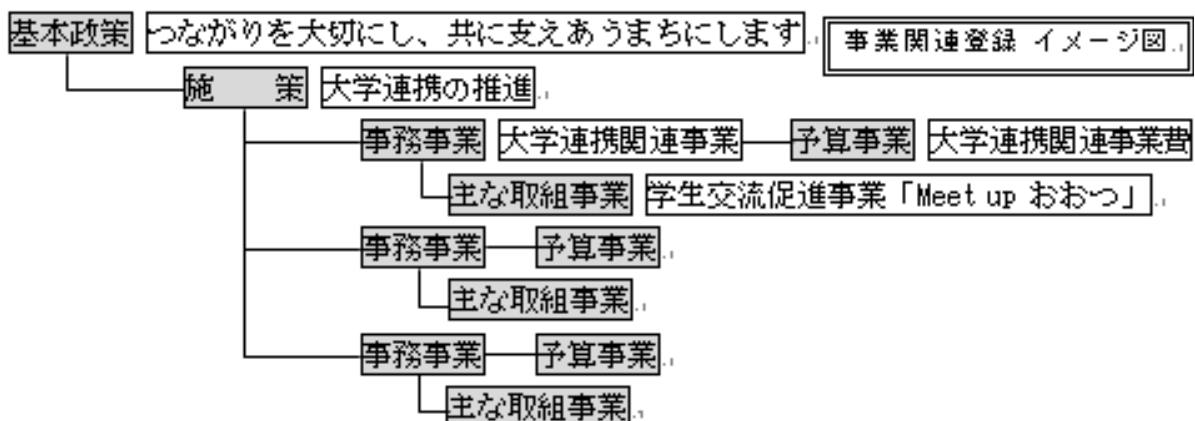
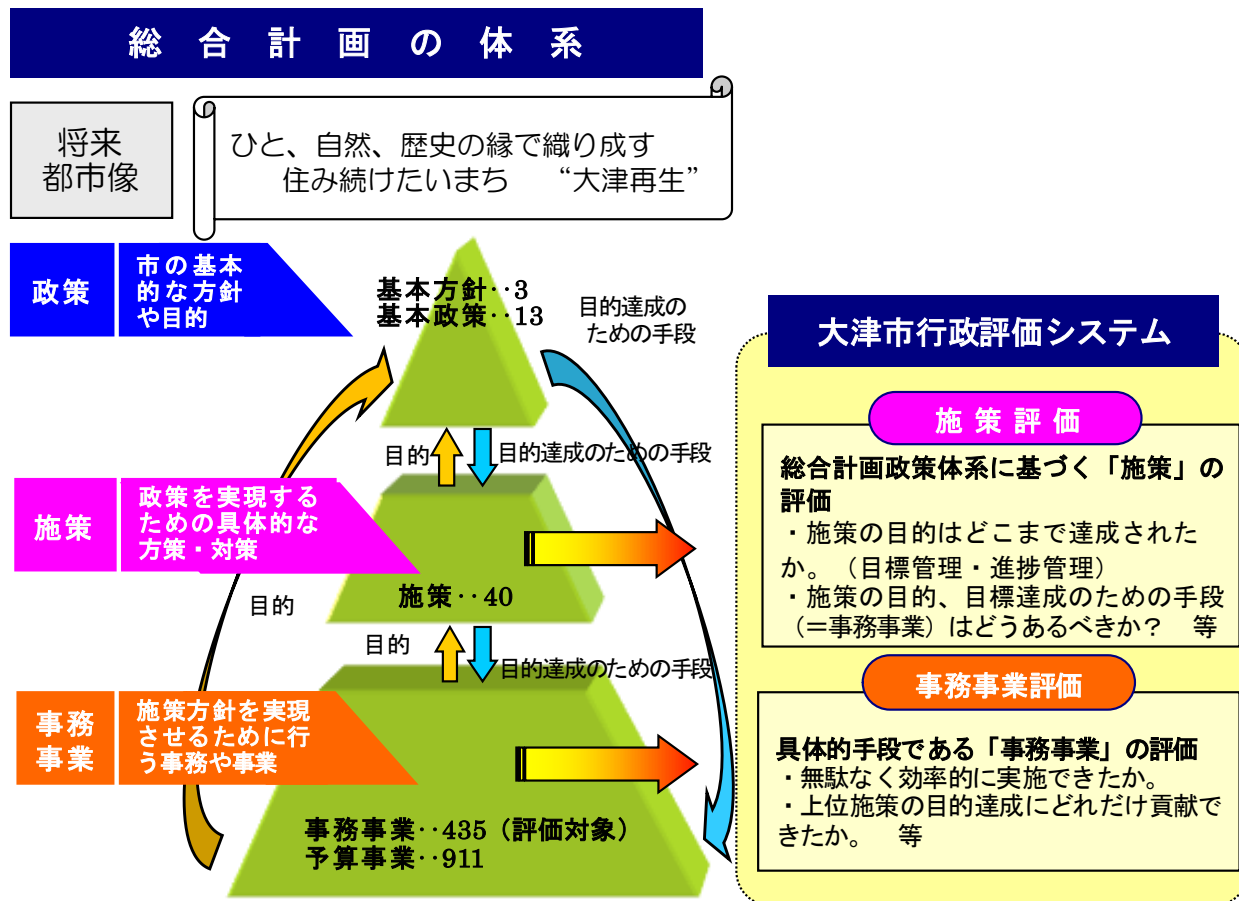
本市の行政評価制度は、予算や人員など行財政資源を配分するツールとして活用するだけでなく、「現場主体のマネジメントツール」としても活用している。本制度は、前総合計画第2期実行計画の策定を機に施策評価を導入し、本計画の進行管理を行うとともに、厳しい行財政環境の中で、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」といった「選択と集中」を行うために「本当にやるべきは何か」を明らかにし、それらを「どのように実施するか」を考えるためのツールとするために制度化するものである。

施策、事務事業の最前線で責任を負う者が、その責任において上位の目的に貢献するための具体的目標を定め、実施結果を分析し、検証結果を次に活かしていく中で、行政の質の改善、維持向上と徹底したコスト意識、成果重視の意識の定着化を図る。



(4) 評価体系

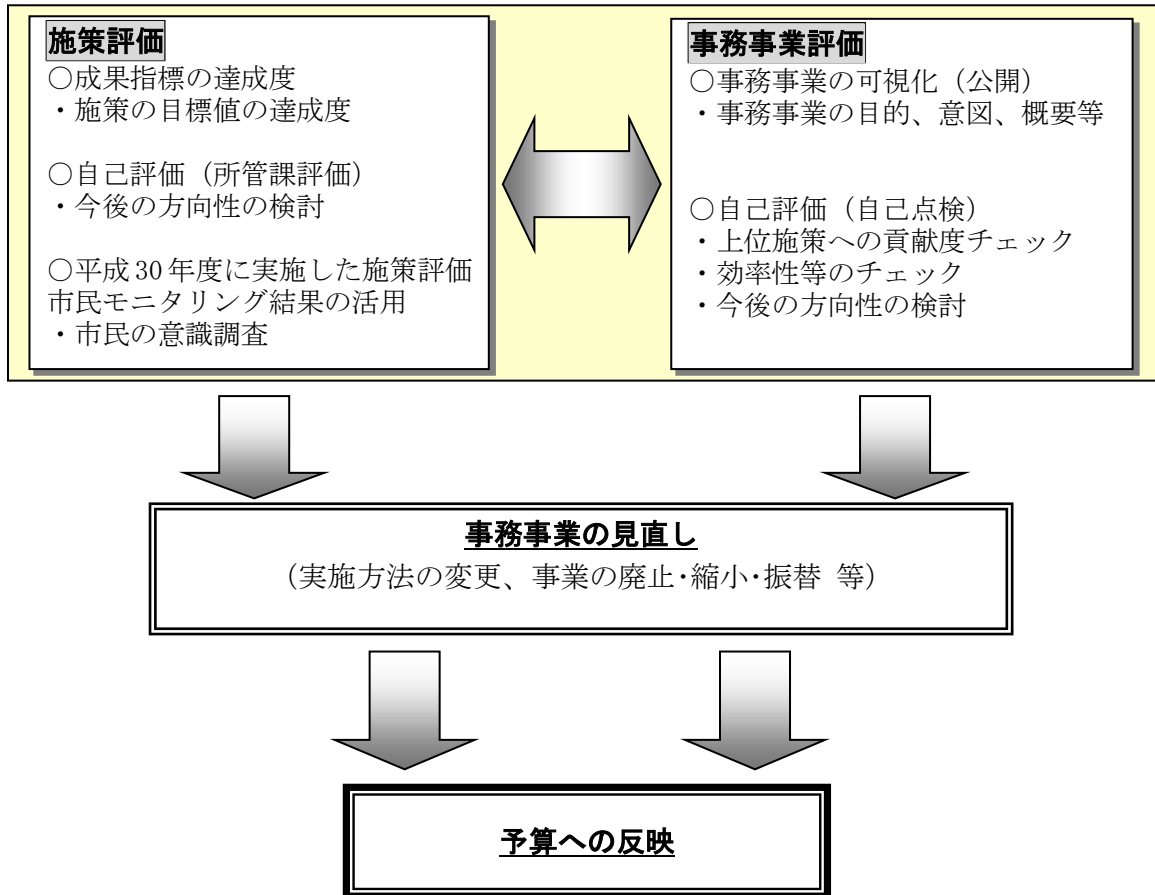
行政活動の体系は、総合計画において政策—施策—事務事業の階層により構成されているが、本市では、このうち市の将来像の具体的な方向性を示した「施策」を評価する「施策評価」と施策の目的を達成するための具体的な手段となる「事務事業」を評価する「事務事業評価」に取り組んでいる。



(5) 行政評価の流れ

施策評価や事務事業評価の点検結果を踏まえ、今後の取組方針を検証し、予算や企画立案に反映させ、行政活動の質的向上を図る。

また、評価の結果や過程を評価シートにまとめ公開することで、行政活動の可視化、市民への情報提供を図り、説明責任を果たす。



5 施策評価

(1) 施策評価の概要

施策評価は、第1期実行計画に掲げた40の施策を評価単位として、各施策に設定した成果指標の目標値に対する達成度、事務事業評価結果に基づき、施策配下の事務事業を効果的にマネジメントしているか、分析・検証し、今後の方向性について検討をするものである。

施策評価シートの作成は、施策主管部局の担当課長が行い、施策配下の事務事業が複数部局にまたがる場合は、部局間の情報共有と連携を図る。

(例:出産から育児への切れ目のない支援…福祉子ども部、健康保険部、政策調整部)

(2) 評価の進め方

◆① 施策概要の把握

施策の課題、目標とする姿、視点、指標、視点の主な取組について、実行計画に記載している内容を確認する。



◆② 指標の目標達成度の把握

実行計画において、施策の成果や効果を測る定量的で客観性のある「成果指標」を設定し、基準値と目標値を示している。当該指標について、評価年度の達成度を把握する。



◆③ 平成30年度に実施した施策評価市民モニタリング結果の活用

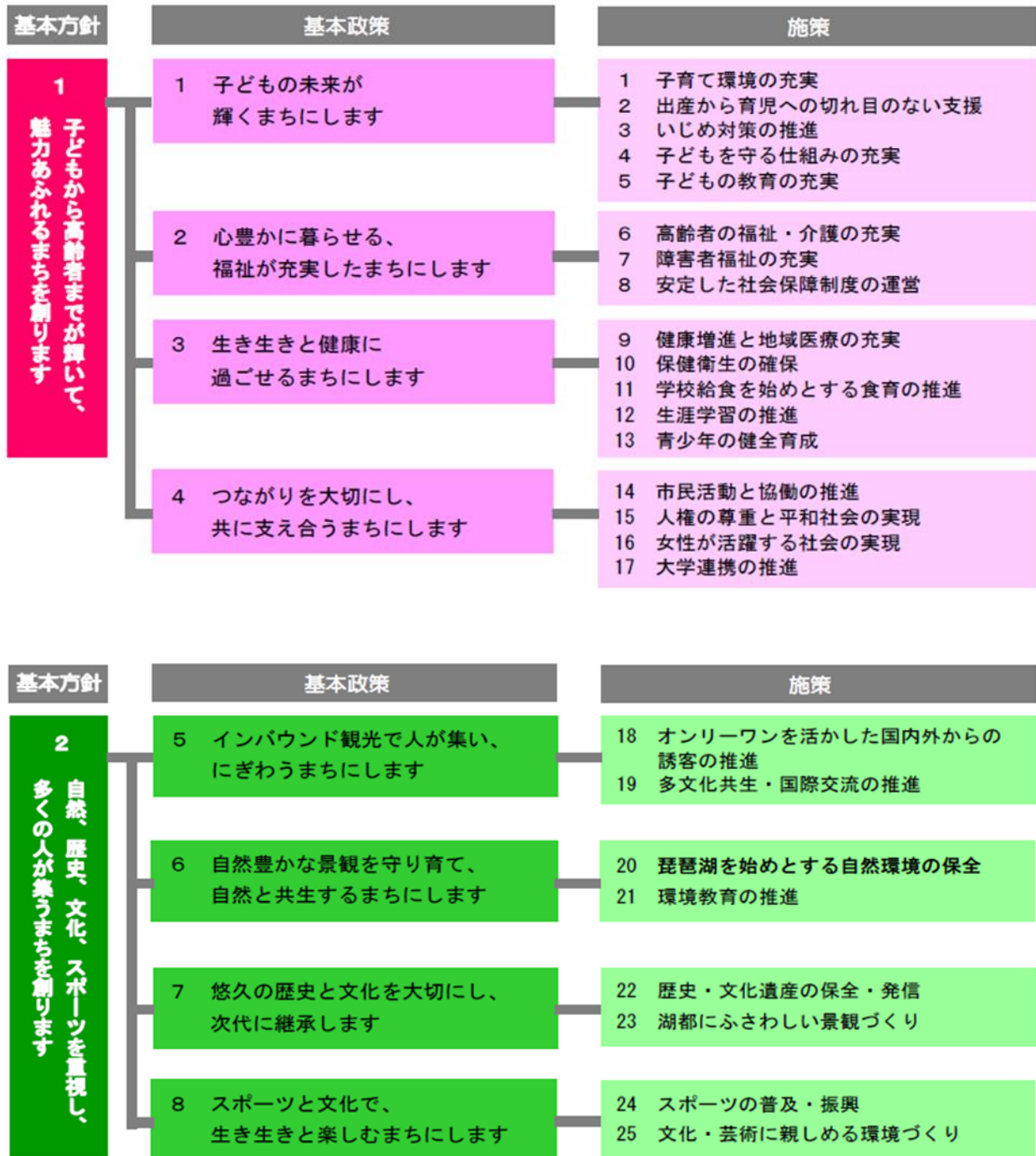
本市が取り組む施策について、平成30年度に市民モニタリング評価を実施した。市が進めている各施策の取り組みについて、市民が感じている満足度、重要度等を調査した結果を評価に活用する。

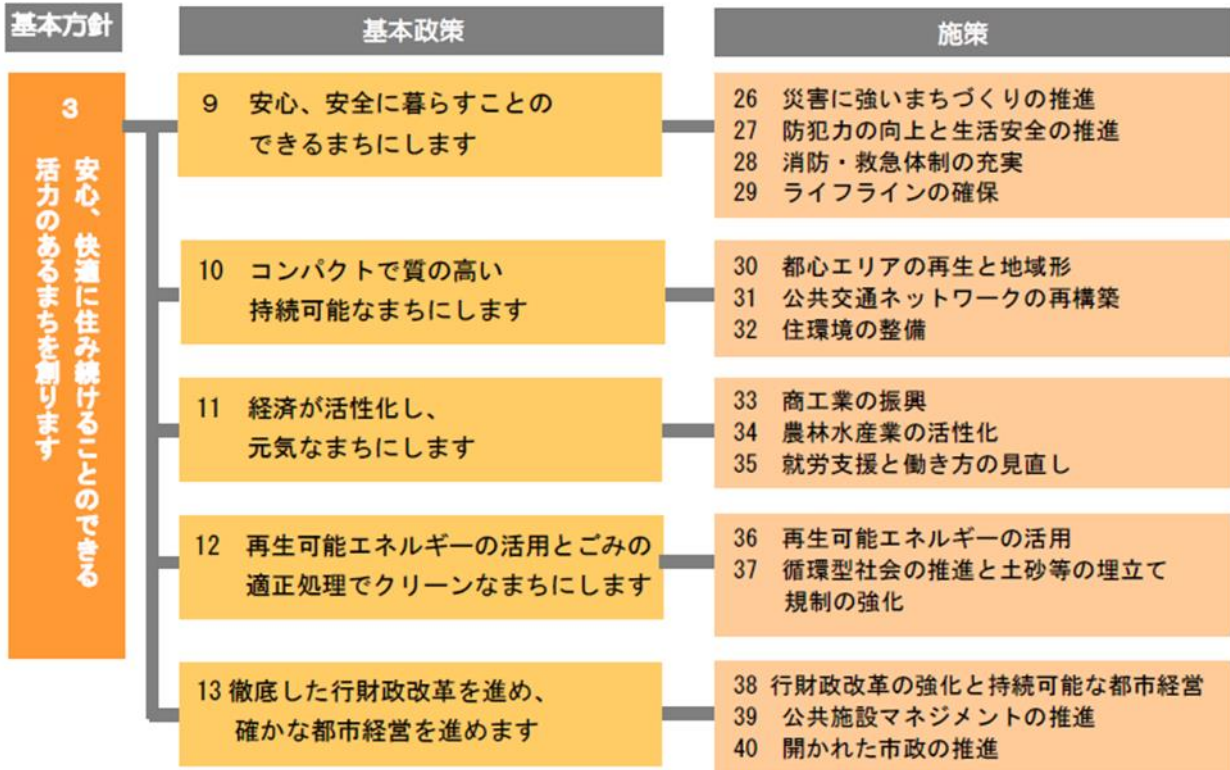


◆④ 施策の評価及び方向性

指標の達成度や施策配下の事務事業評価結果並びに施策評価市民モニタリングによる市民満足度、重要度等から、施策を総合的に評価し、今後の方向性（見直し・追加・削除）について検討する。

(3) 施策体系 (第1期実行計画)





(4) 施策評価シートの見方

施策1 平成31年度 施策評価シート

| | | | |
|-----|--------|----------|--------|
| 所管部 | 福祉子ども部 | 所管課 | 子ども家庭課 |
| 施策名 | 01 | 子育て環境の充実 | |

<1. 基本情報>

| | | | |
|--------|------|----|----------------------|
| 実行計画体系 | 基本方針 | 01 | 子どもから高齢者までが輝くまちを創ります |
| | 基本政策 | 01 | 子どもの未来が輝くまちにします |

<2. 施策概要>

| | |
|--------|--|
| 課題 | 少子化や核家族化の進行、保護者の働き方の多様化、女性の更なる活躍推進などにより、保育サービスなどの子育て支援に対するニーズが多様化する一方で、地域でのつながりの希薄化等を背景に、誰にも相談できず子育てに不安を抱く親も少なくない。 |
| 目標とする姿 | “待機児童ゼロ”を始め、保育・幼児教育及び児童クラブの「量」の確保と「質」の向上により、若い世代が喜びを持って安心して子育てをし、子どもが健やかに成長することができる「子育てするなら大津」と言われる環境が整っている。 |
| 視点 | 1 保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上 2 市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と規模の適正化 3 子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進 |

<3. 成果指標>

| 項目 | 指標 | 単位 | 実績値 | | | | | |
|----|---------------|-----|---------|---------|---------|---------|---|---|
| | | | 29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | | |
| 1 | 待機児童数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 58 | - | - |
| 2 | 3年保育の実施率 | % | 0.00 | 100.00 | 28.00 | 52.00 | - | - |
| 3 | 地域子育て支援拠点利用者数 | 人/年 | 148,632 | 157,000 | 144,025 | 140,985 | - | - |

<4. 市民モニタリング結果>

| | 施策値 | 総合順位 |
|-----|------|------|
| 満足度 | 2.54 | 12 |
| 重要度 | 3.91 | 1 |

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・保育園はあっても保育士が不足していて、定員まで受け入れていない保育所がある。保育士の給料が低くハードで辞めていかれる先生も多い。
- ・保育士の不足は切実、又、児童クラブは私立(民間)のものも増えてきているが、保育士の質の向上
- ・病児保育の可能な保育所の存在を知らない。育児休暇(1年)中だと、早期就業開始の実績がないとあつかうしてもらえない。
- ・認定こども園を確保してほしい。
- ・保育士、児童クラブ指導員の確保はぜひ必要。保育所や児童クラブの数だけでなく人材の充実が急務。私は、保育士だが、人の命をあずかる激務であるにもかかわらず、給料が安すぎます。仕事はやりがいだけではやっていけません。
- ・保育園も幼稚園も、先生の数が絶対的に少ない。法律的な先生の数は確保されていると思うのですが、「質」の面を考えるならば、先生の数の増員、施設の充実、保育時間の延長をお願いできればと思います。また、市は園に対して定期的に視察点検、保護者の声の調査をして頂ければ、さらに良くなるように思います。
- ・児童クラブの入所の条件としての労働時間を短くしてほしい。小6までは1人留守番禁止令(オーストラリア)など導入。子供が1人で家にいることでの熱中症、不信者から守る手助けを希望します。
- ・出産等を機に京都等から大津の方が保育所に入りやすいと転居されている人がおられると聞いている。若い人が住むのには重要な点だと思います。
- ・保育士が不足している。また保育士賃金が改善されずやめていく人もいる。結果 残された保育士への負担が増え、十分な子どもへの支援ができない。女性が働きやすい環境づくりの最優先事項だと思う。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

| 総合評価 | | | | 評価対象事業数 | | | | 総事業費(千円) |
|------|----|-----|----|---------|-----------|-----|-----------|------------|
| 継続 | 改善 | 見直し | 廃止 | 事業数 | 事業費(千円) | 事業数 | 事業費(千円) | |
| 23 | 0 | 1 | 0 | 24 | 5,725,101 | 19 | 9,869,735 | 15,594,836 |

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント>

| | |
|--------|--|
| 平成30年度 | <p>指標成果のうち、待機児童数については、評価基準を0人で順調、外部要因により目標未達の場合はほぼ順調、内部要因による目標未達の場合はやや不調、施設整備自体が進まなかった場合は不調としている。平成27年度から3年連続で待機児童ゼロを達成したが、予想以上の申込の増や施設整備工事の遅れ等、外部要因により平成30年度は年度当初58名が待機児童となったため、ほぼ順調と評価としたが、その後の取組みにより平成31年度当初では再び待機児童ゼロを達成することが出来ている。幼稚園の3年保育の実施率についても当初の計画どおりに実施園を増やすことが出来ており、実施率は着実に上昇している。地域子育て支援拠点利用者数についても目標値よりは若干下回ったものの多くの方に利用していただき、総合的にみて順調に子育て環境の充実が図られている。</p> <p>また、施策配下の事務事業についても、民間保育所施設の整備や民間保育所施設整備費補助事業、病児・病後児保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全事業、市立幼稚園3年保育推進事業、児童館運営事業、ファミリーサポートセンター運営事業といった子育て環境の充実に大きく関係する事業については、すべて総合評価が高い結果となり、こうした事業の取組を更に推進することによって、子育て環境の充実を図っていく必要がある。</p> |
|--------|--|

⑦ 評価コメント

① 基本情報

総合計画の政策体系で、3つの基本方針及び13の基本政策中、どの体系に属する施策であるかを示している。

② 施策概要…3つの視点で分かりやすく簡潔に示す。

| | |
|--------|--|
| 課 題 | 施策に関わる一般的な課題や、大津市の抱える課題 |
| 目標とする姿 | 施策を実行することで実現を目指す、まちや市民の状態 |
| 視 点 | 施策を実現するために、特に力を入れることが必要、又は、効果的であると思われる視点 |

③ 成果指標

総合計画第1期実行計画の各施策に掲げた数値目標に加え、一部の施策で、各評価主管課により設定された数値目標を指標として掲げている。

④ 市民モニタリング結果

平成30年度に実施した施策評価市民モニタリングの結果データ及び主な意見を評価の際に、資料の一つとして活用している。

ア 調査対象・方法

| 項 目 | 内 容 |
|------|-----------------------------|
| 対象地域 | 大津市全域 |
| 調査対象 | 大津市に居住する18歳以上の男女、48件 |
| 抽出方法 | 住民基本台帳を用いた無作為抽出のうち、希望者による参加 |
| 調査方法 | 市による説明の後に、アンケートでの回答 |
| 調査日 | 平成30年7月21日(土) |

イ 集計方法

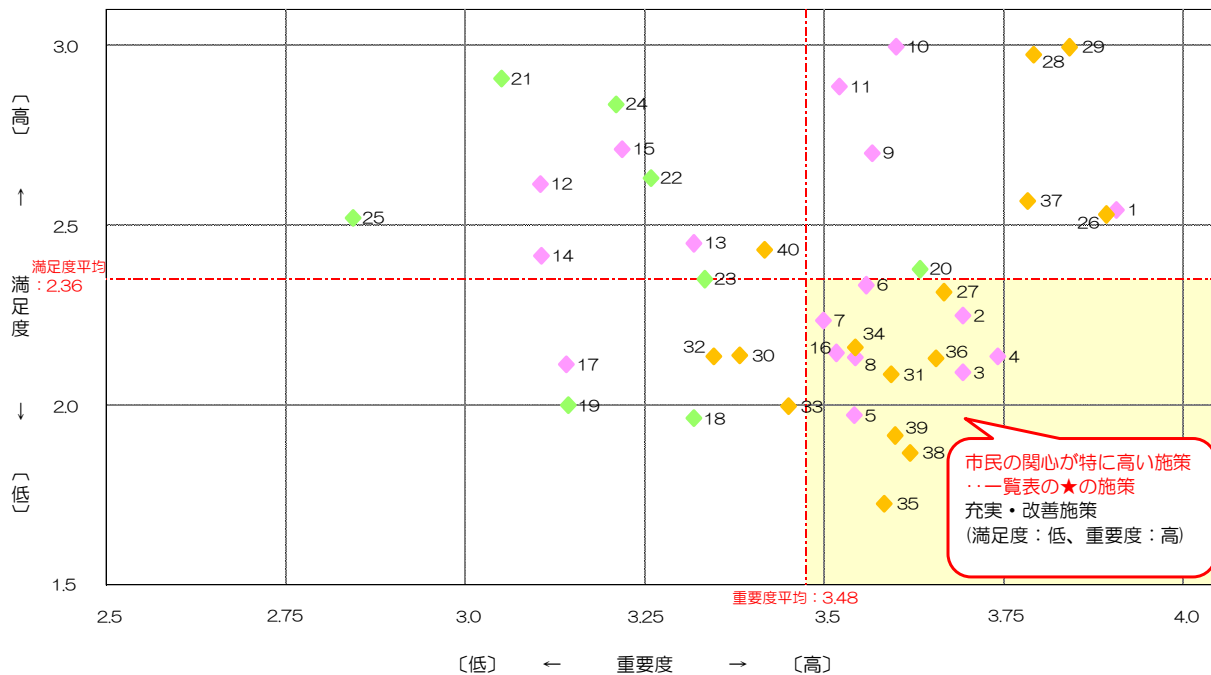
全設問の集計を行うとともに、各設問を本市の施策に当てはめ、施策ごとの満足度・重要度において、選択肢1「満足、重要」から選択肢4「満足でない、重要でない」までにそれぞれ4点～1点を与え、各設問における得点を算出した。なお、選択肢5「わからない」および「無回答」のサンプルは集計対象から除外している。

ウ 市民モニタリング結果一覧

| 施策番号 | 体系コード 方針-政策-施策 | 施策 | 満足度 | | 重要度 | | |
|------|-------------------|------------------------|--------------------|-----|------|------|----|
| | | | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | |
| 1 | 01-01-01 | 子育て環境の充実 | 254 | 12 | 3.91 | 1 | |
| ★ | 2 | 01-01-02 | 出産から育児への切れ目のない支援 | 225 | 22 | 3.69 | 7 |
| ★ | 3 | 01-01-03 | いじめ対策の推進 | 209 | 33 | 3.69 | 8 |
| ★ | 4 | 01-01-04 | 子どもを守る仕組みの充実 | 213 | 30 | 3.74 | 6 |
| ★ | 5 | 01-01-05 | 子どもの教育の充実 | 197 | 37 | 3.53 | 20 |
| ★ | 6 | 01-02-01 | 高齢者の福祉・介護の充実 | 234 | 20 | 3.56 | 18 |
| ★ | 7 | 01-02-02 | 障害者福祉の充実 | 224 | 23 | 3.50 | 24 |
| ★ | 8 | 01-02-03 | 安定した社会保障制度の運営 | 213 | 29 | 3.53 | 19 |
| 9 | 01-03-01 | 健康増進と地域医療の充実 | 270 | 8 | 3.57 | 17 | |
| 10 | 01-03-02 | 保健衛生の確保 | 300 | 1 | 3.60 | 13 | |
| 11 | 01-03-03 | 学校給食を始めとする食育の推進 | 289 | 5 | 3.52 | 22 | |
| 12 | 01-03-04 | 生涯学習の推進 | 262 | 10 | 3.11 | 37 | |
| 13 | 01-03-05 | 青少年の健全育成 | 245 | 15 | 3.32 | 30 | |
| 14 | 01-04-01 | 市民活動と協働の推進 | 242 | 17 | 3.11 | 38 | |
| 15 | 01-04-02 | 人権の尊重と平和社会の実現 | 271 | 7 | 3.22 | 33 | |
| ★ | 16 | 01-04-03 | 女性が活躍する社会の実現 | 215 | 25 | 3.51 | 23 |
| 17 | 01-04-04 | 大学連携の推進 | 211 | 31 | 3.14 | 35 | |
| 18 | 02-01-01 | オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進 | 197 | 36 | 3.32 | 31 | |
| 19 | 02-01-02 | 多文化共生・国際交流の推進 | 200 | 34 | 3.14 | 36 | |
| 20 | 02-02-01 | 琵琶湖を始めとする自然環境の保全 | 238 | 18 | 3.63 | 11 | |
| 21 | 02-02-02 | 環境教育の推進 | 291 | 4 | 3.05 | 39 | |
| 22 | 02-03-01 | 歴史・文化遺産の保全・発信 | 264 | 9 | 3.26 | 32 | |
| 23 | 02-03-02 | 湖都にふさわしい景観づくり | 235 | 19 | 3.33 | 29 | |
| 24 | 02-04-01 | スポーツの普及・振興 | 284 | 6 | 3.21 | 34 | |
| 25 | 02-04-02 | 文化・芸術に親しめる環境づくり | 252 | 14 | 2.84 | 40 | |
| 26 | 03-01-01 | 災害に強いまちづくりの推進 | 253 | 13 | 3.89 | 2 | |
| ★ | 27 | 03-01-02 | 防犯力の向上と生活安全の推進 | 232 | 21 | 3.67 | 9 |
| 28 | 03-01-03 | 消防・救急体制の充実 | 297 | 3 | 3.79 | 4 | |
| 29 | 03-01-04 | ライフラインの確保 | 300 | 1 | 3.84 | 3 | |
| 30 | 03-02-01 | 都心エリアの再生と地域形成 | 214 | 26 | 3.38 | 27 | |
| ★ | 31 | 03-02-02 | 公共交通ネットワークの再構築 | 209 | 32 | 3.59 | 15 |
| 32 | 03-02-03 | 住環境の整備 | 214 | 27 | 3.34 | 28 | |
| 33 | 03-03-01 | 商工業の振興 | 200 | 34 | 3.45 | 25 | |
| ★ | 34 | 03-03-02 | 農林水産業の活性化 | 216 | 24 | 3.53 | 21 |
| ★ | 35 | 03-03-03 | 就労支援と働き方の見直し | 172 | 40 | 3.58 | 16 |
| ★ | 36 | 03-04-01 | 再生可能エネルギーの活用 | 213 | 28 | 3.66 | 10 |
| 37 | 03-04-02 | 循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化 | 257 | 11 | 3.78 | 5 | |
| ★ | 38 | 03-05-01 | 行財政改革の強化と持続可能な都市経営 | 187 | 39 | 3.62 | 12 |
| ★ | 39 | 03-05-02 | 公共施設マネジメントの推進 | 191 | 38 | 3.60 | 13 |
| 40 | 03-05-03 | 開かれた市政の推進 | 243 | 16 | 3.42 | 26 | |
| | | 平均 | 236 | - | 3.48 | - | |

★ …市民の関心が特に高い施策（充実・改善施策）を表す。

満足度と重要度の関係（市民モニタリング結果）



⑤ 施策配下の事務事業評価結果

- ・当該施策の配下に属する事務事業の総合評価結果の内訳を表示
- ・評価対象事業数及びその事業費の表示
- ・評価対象外の事業数及びその事業費の表示
- ・平成 30 年度の総事業費（決算額）の表示

上記項目の内、事業費に含まれる人件費は、正規・嘱託・臨時・再任用職員の各々の平均給与に職員工数を乗じて算出している。

⑥ 評価

各施策に設定した各年度における目標値に対する実績値を基に達成率を算出し、4段階（◎：順調、○：ほぼ順調、△：やや不調、×：不調）で評価している。

●達成率に基づき、下記の区分で評価

| 達成率 | 評価 |
|-------------|------|
| 90%以上 | 順調 |
| 75%以上 90%未満 | ほぼ順調 |
| 60%以上 75%未満 | やや不調 |
| 60%未満 | 不調 |

⑦ 評価コメント

上記の評価や施策配下の事務事業の取組状況等を踏まえ、総合的な評価や課題、今後の取組みや施策の方向性等について主管部局のコメントを掲載している。